

ひがし

No. 211

'53 5 / 15

人口の動き

—4月末住民登録人口から

世帯数	952
人口	3,878
転入	41
転出	49
出生	7
死亡	4
先月と比較して	5人減
昨年と同月と比較して	49人減

広報

しらかわ

発行 岐阜県加茂郡東白川村

編集 / 企画広報課

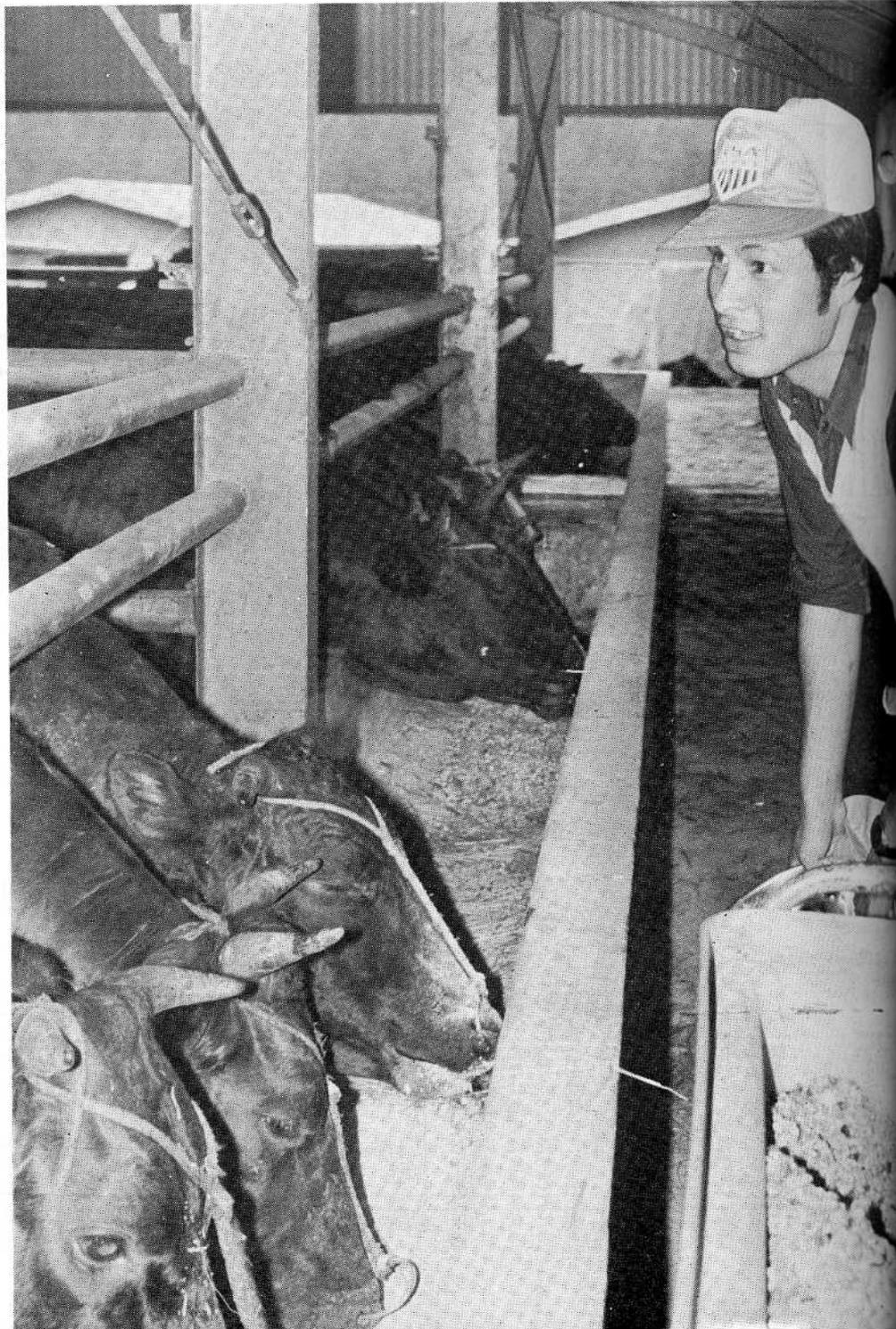
印刷 / 関市中部印刷

働く若者

農業振興の柱のひとつとして大きなウエイトを占める畜産。

中でも肉牛飼育は、水田転換の大幅実施を背景に期待が持たれます。

—よりよい肉牛経営をめざし牛70頭余りの世話に追われる宮代今井建夫君(26歳)



主な内容

- がんを考える……P 2～3
- オリエンテーリング大会
のもよう……P 4
- 第22回加茂郡消防操法
大会のもよう……P 5
- 寄稿—中国みてある記…P 6
- 完成した神土製茶工場…P 7
- 事業所統計のお知らせ…P 8
- 村誌編さん室だより……P 9
- ふるさとへのたより……P 10
- けいじ板はP 4・5の下欄

がん 決め手は早期発見

年一回は必ず定期検診を

昭和五十三年度の保健衛生事業の重点目標に新しく加わった「がん予防策」

最近の病気の中で脳卒中に次いで高い死亡率を占めると同時に、精神的に苦痛を与える「がん」について考えてみましょう。

男女ともに

多い胃がん

日本人が死ぬ病気の順位は全年齢で見ると脳卒中、がん、心臓病の順ですが、男は四十歳から六十九歳まで、女は三十歳から六十四歳までのいわゆる働きざかりといわれる年齢層でがんが一位を占めています。

男女ともに胃がんが多く次いで男は肺がん、肝がん、女では子宮がん、肺がんとなっています。

がんにはほかの病気と違ったやっかいな点があります。それは初期の症状にほとんど気がつかないうちに経過するということです。

はつきりとした症状が現われたときにはもう手遅れになることが多いのです。

問題は早期発見です。初期のうちにかんであることを

現代は

「がんノイローゼ時代」

はつきりつかんでしまえばそれほど恐ろしい病気ではありません。早期に治療を受ければほとんど治るといわれています。

昭和五十年の厚生省の統計ではがん死亡全体の中で胃がんは、男では三九・五割、女では三二・七割を占めており、世界中で日本人にいちばん多い病気といわれています。



△ 順番を待つ受診者たち（胃がん検診）

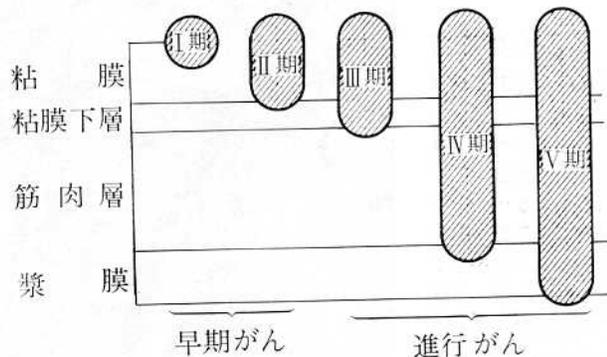
それだけに、ちよつとした胃の変調でも「胃がんではないだろうか」と心配になり、仕事を手につかなくなったり食事のどを通らなくなるという人が多いようです。

「最近胃の調子が悪いから受けたが受け」て異常を発見されるのが「こわい。」ということをよく耳にしますが、宣告されるのを恐れて検診を受けないだけでは自分でとりこし苦労をするだけでなく時には手遅れになることもあります。

早期がんと 進行がん

がんの進み方を胃がんを例にとつてみると図1のように、がんはまず胃の内側の粘膜にできます。この粘膜だけにとどまっている時期のものを「早期がん」と呼ん

図1 胃がんの進み方



でいます。早期がんのうちなら手術でほとんど治るといわれていますが、この早期がんの状態では自覚症状のないことが多く、発見するには定期的に検診を受けることが必要とされています。

がんが粘膜を越えて筋肉層や漿膜さらに胃壁の外側までひろがるといういろいろな自覚症状がでてきます。この状態を「進行がん」と呼びこうなると手術しても完全に治すことはむずかしいようです。

に愚かな現象といえます。このノイローゼを追放するためには、定期的に検診を受けるのがまず第一です。

検診の結果異常なしの判定を受ければ安心して暮らすことができるといえるでしょう。

たとえ精密検査が必要という判定を受けたとしてもまだ発病と決つたわけではありません。

胃の検診などでは単なる潰瘍ということも考えられますから、心配せず精密検査を受けることも大切です。

「最近胃の調子が悪いから受けたが受け」て異常を発見されるのが「こわい。」

早期がん

進行がん

進行がんの多い本村

私たちの村の総死亡のうち、がんの占める割合を近隣町村と比べてみると約一〇割ちかく上まわる値を示しています。(図Ⅱ)

また、年度別の推移をみてみると昭和四十九年ころから急増していることがおわかりいただけると思います。(図Ⅲ)

昭和四十九年から五十二年までの四年間にがんで亡くなられた方は三十六人で総死亡の約二五割を占め、このうち胃がんは十三人で三六・一割となっております。

子宮がんは、医学の進歩や婦人ががんに対する知識の普及もあって年々減少しているようです。

近隣町村と比較して非常に高い値を示している原因ははっきりしてはいませんが、ただひとつ言えることは、本村の胃がんで亡くなられた人の実態を調べてみると、

図Ⅱ 総死亡中がんの占める率

年度	50	51
坂 祝	13.0	21.0
富 加	15.0	19.0
川 辺	14.0	13.0
七 宗	10.0	14.0
八 百 津	12.0	15.0
白 川	14.0	15.0
東 白 川	26.5	29.6

ほとんどの人が胃がんとわかってもし遅れの状態で見えられたという事です。

すべて「進行がん」で見えられ一年以内に亡くなられています。

また、早期がんで発見され手術を受けられた人の実態もはっきりしていませんが、少くとも治ってしまっただけか、あるいは完全に治らなかつたとしても死に至るまでにはなっていないことでしょう。

減少一途の受診者

県のがん検診車による胃がん検診は昭和四十一年から、子宮がん検診は昭和四十四年から行われてきました。

図Ⅳでおわかりのように受診者は、胃では昭和四十八年の百四十九人を、子宮では昭和四十七年の二百二十二人をピークに年々減少

傾向を示していますし、いずれにしても対象者全体からみた受診率は一〇割以下となっており、低いとしかいえません。

検診の手順

現在県のがん検診車による集団検診には胃と子宮の二つがあります。

大きな都市などでは肺がんや乳がんの集団検診も行っているところもあるようですが、ここで一般的な胃がんと子宮がんの検診手順を簡単に説明してみましよう。

胃がん検診の場合はまず、胃の中を前日の夕方からカラッポしておき、検査を受ける前にバリウムという白い液状の造影剤を飲みます。

次に、受診者が寝台に横になる

とこの寝台が動き、いろいろな方向からレントゲン写真を撮ります。

このフィルムを専門の医師が読影診断して約一か月後に受診者へ結果が届くことになっていきます。

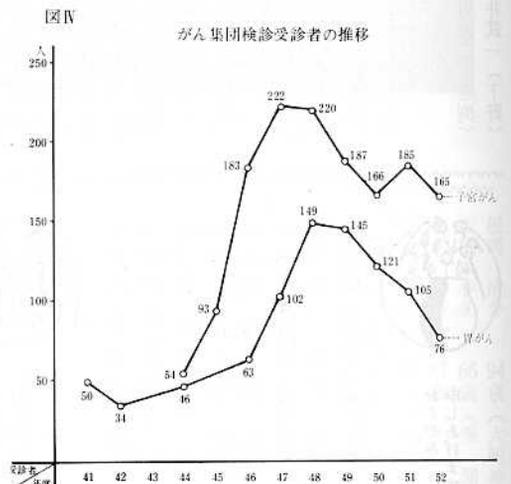
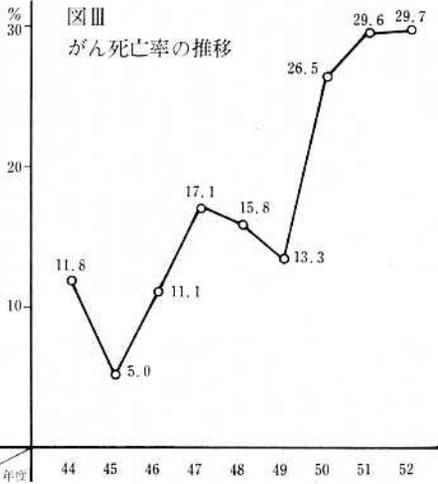
子宮がん検診では、子宮から採取した材料をガラス板に塗って染色し顕微鏡でがん細胞があるかどうか調べます。

結果は胃がん検診と同様約一か月後に受診者あてに通知があります。

異常のあった人たちには胃・子宮とも精密検査などそれぞれの状態にあった指示があり、その通知書を持って医療機関へ行けばはつきりとした結果が得られます。

集団検診を一回受けて、異常なしといわれたからといって永久に大丈夫だと早合点してはいけません。

集団検診は毎年(理想的には年2回)受けないとがんの早期発見は不可能とされています。気がなる年代の皆さん今年こそ思いきって検診を受けてみてはいかがでしょうか。



今年の検診予定

村では今年も県のがん検診車に依頼して胃がんと子宮がんの集団検診を行います。

胃がん検診は十一月の一日、二日、子宮がん検診は六月二十八日二十九日、三十日に予定されています。

オリエンテーリング大会

十二組五十人が参加

新緑の日向コースで

五月五日こどもの日の行事としてオリエンテーリング大会が越原日向コースで行われました。

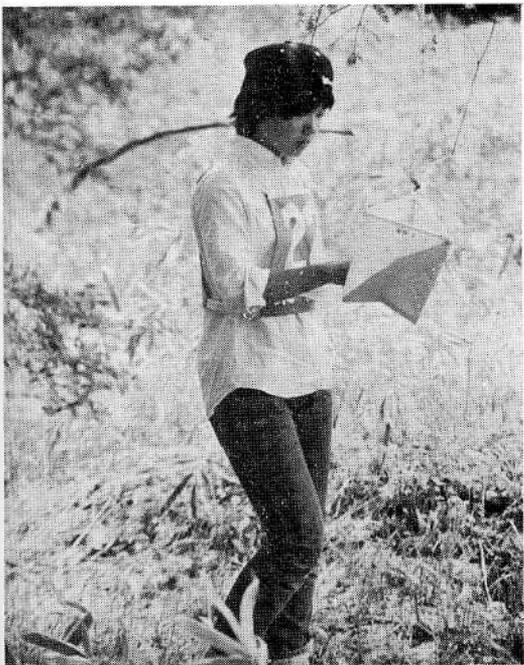
オリエンテーリングとは、歩け歩け運動と宝さがしを組み合わせたようなもので、地図と磁石をたよりに地図上に示されたいくつかのポイントを順序よく探し、早くゴールすることを競い合う、まったく新しい形のスポーツとして本村でも昭和四十八年から行われています。

今回の越原日向コースでは一般コース、家族コースともに約六歳の距離で十か所のポイントが設けられ一般コースは九パーティイ三十七人、家族コースは三パーティイ十三人が参加しました。

参加者は初めてという人が多く係からの地図の見方やコンパスの使い方など熱心に聞いていました。

午前九時三十分越原公民館前を第一組が発発し、それぞれ二分

△ やっとみつけたポイントでチェックカードに記入



間隔で目標地点をめざしスタートして行きました。

途中コースを間違えた組もいくつかあったようですが、なんとかポイントを通り、午前十一時四十三分最後の組がゴールしました

それぞれ用意してきた昼食を食べたあと、表彰式が行われ午後一時に大会の幕を閉じました。

参加者からは「非常に楽しかった、また秋にも計画してください」と要望がでていました。

結果は次のとおりです。

平均タイム一時間五十一分

〔家族の部〕

一位 田口優子ほか三人(大明神) 一時間四十二分

二位 福島宣秋ほか五人(越原小) 一時間三十五分

三位 小林道子ほか二人(陰地) 一時間三十五分

〔一般の部〕

一位 安江貞人ほか四人(大口) 一時間三十五分

二位 安江 健ほか四人(日向) 一時間三十五分

三位 今井幸泰ほか二人(大沢) 一時間三十五分

教育関係委員を委嘱

この四月から社会教育をはじめ公民館長、体育指導委員、青少年育成委員など教育事業関係の委員が委嘱されました。

「明るい村づくり」をめざして今後二年間活躍していただくかたがたを紹介します。

◇社会教育委員

高田隆(東白川中学校長)、古田小夜子(久須見)、今井貞子(平)

古田保(久須見)、田口稔(平) 熊沢健(黒瀨)、安江一成(大明神)

◇公民館長

越原公民館長—安江正男(日向) 五加公民館長—今井 透(柏本)

◇公民館運営審議会委員

山田秋夫(五加小学校長)、村雲一男(中通)、熊沢光介(日向)、安江久夫(日向)、今井志げる(加舎尾)、安江きぬ(柏本)、田口政春(西洞)

◇体育指導委員

安江久夫(日向)、今井猛夫(柏本)、安倍 徹(西洞)

◇体育推進員

古田公平(西洞)、安江建夫(平)、安江健二(下親田)、古田勝彦(平)、安江 司(西洞)、安江祐助(上親田)、安江正大(日向)、安江祐策(大明神)、安江千章(陰地)、松岡良典(日向)、今井武司(陰地)、山口和久(下野)、古田茂樹(久須見)、今井直美(下野)、安江正樹(柏本)

◇青少年育成推進指導員

安江文吾(下親田) — 県の委嘱
◇青少年育成推進員
古田 忠(上親田)、村雲邦彦(平)、栗本重秋(柏本)、有賀政晴(平)、桂川 東(黒瀨)

※区 長

越原区長—桂川完二(黒瀨) 五加区長—今井武一(下野)

■ 戸籍の窓 (四月)

誕生おめでとう
ございます。



(大明神)安江 廣文 利子	房子 四女
(下野)今井 義信 裕美子	恵子 長女
(加舎尾)村雲 昭二 めぐみ	恵子 長女
(大沢)今井 政信 雄平	恵美子 長男
(平)安江 正孝 亜由美	さな多 二女
(久須見)五十川幸司 かつゆき	恵子 長男



いつまでも
おしあわせに

安江 正樹(神付)	安江まゆみ(平)
古田 明雄(平)	安江 裕子(日向)
島倉 豊幸(宮代)	永治美登里(蛭川村)
今井 稔(下野)	近藤美智子(大口町)



おくやみ
申しあげます

中国見てある記



(最終回)

安江雅信君の

中国旅行記最終

回です。

今回は中国の

人々の娯楽と名

所として有名な

万里の長城を紹介

したいと思います

ます。

中国の人々の余暇時間は私たち日本人と比べてかなり少ないようです。それは中国のあらゆる産業が現在まさに発展段階であるからです。生産向上に大きな力が注がれ夜遅くまで創業している工場も少なくありません。

ではその貴重な余暇を中国の人々は何を楽しんでいるのでしょうか。

中国といえばマージャンの発祥地。さぞ盛んなことと思われるでしょう。しかし中国ではマージャンや競馬などギャンブル的な娯楽は全然ありません。

将棋は現在も広く愛好されています。一般的には読書や映画が楽しめます。映画は工場や農村ごとに開催され、その内容は民族舞踊や英雄伝がほとんどです。

時には雑技という日本のサーカスのような催しものもあり、家族

そろって見物に行くそうです。

休日には親戚へ遊びに行ったり観光地や買物へでかけたりします。

それでは中国の名所の一つである万里の長城へご案内します。

万里の長城は北京から北へバスで二時間ほどの所です。

途中の道路は狭いながらもよく整備されています。進むにつれて周囲の景色から緑が少くなり山もけわしくなってきました。

大きな樹木はなく背の低い草が生えている付近の農家では羊を放牧しています。峠をいくつも越えたと山の峰にそって万里の長城が見えてきました。長城の所々には関所のようなところがあり、ここから上へ登ることができません。

ブロックより少し大きめの石で築かれた城壁の高さはところによっては三十メートルくらいありそうです。

幅は七、八メートル、道の路のようになっていて、山の上付近では鉄砲を射つための窓が作られています。長城

中国の歴史がうかがえる万里の長城



の上に立つとどこまでも果てしなく広がる山々とそこを糸のように細くなるまで続く万里の長城を眺めることができます。

こうしていると、この城壁を作った時代の背景や人々の苦勞を想像することが出来ます。

中国は古くから日本と関係の深い国であり皆さんのなかには実際に中国の土を踏まれた方も多々と思います。

五回にわたって中国の様子を紹介しましたが、いずれにしても国家体制の異った国でありやたらと比較したり評価することは好ましくありませんが、中国の人々のひとりひとりが真剣に国の建設に努力している姿に感銘しその誠実さを感じました。

—完—

季節の話題

ハナシヨウブ

六月の声を聞くと各地で「あやめまつり」が始まります。

花のいのちは短かいほど美しいという定説があるように、この花、正確にいうとアヤメ科の女王ハナシヨウブも三、四日のいのちですが、早咲きから遅咲きまであり、一番花、二番花、ときには三番花までつくれるので、花期としては意外に長く六月いっぱいには続くようです。

季節の話題

ハナシヨウブと同じ仲間のアヤメ、カキツバタは区別しにくいものですが、アヤメは茎も葉も細く、花弁の基部にあやの模様があり、早ければ五月中旬から咲きはじめます。

カキツバタは、広い葉で、葉脈がなく黄味がかかっていて水中に育ち、咲くのは早咲きで五月下旬になります。

ハナシヨウブは、広葉で太い葉脈があります。半乾半湿地帯を好むようです。

開花時期は一番遅く六月です。花びらは九枚のように見えますが、外側の六枚はメシベとガクで、中央の三枚だけが花びらです。

その花びらが、ハナシヨウブは立ったり、垂れ下がったりしています。

神土製茶工場竣工

いよいよ操業開始

県下一の規模誇る



△ 盛り上がりを見せたテープカットの一瞬

第二次農業構造改善事業の一環として昨年八月に着手、工事が進められていた中通地内の神土製茶工場がこのほど完成し五月四日その竣工式がとり行われました。
この神土製茶工場は、東白川農業協同組合が事業主となって建設し、旧製茶工場の加工能力を超えた生産量や機械の耐用年数など同じ悩みをもつ親田地区の農事組合法人神土茶生産組合と、神付地区の同神付茶生産組合の二つの組合（組合員百八十四人）が合併して新たに農事組合法人神土茶生産組合を設立し使用します。
竣工式は午後一時に始められ、事業主体である農協組合長のあいさつにつづいて参事から建設経過報告、工事関係者への感謝状贈呈

施設管理の引継ぎ、神土茶生産組合長の安江正逸さんのあいさつがありました。
このあと来賓として招いた渡辺代議士をはじめ新藤県議会議員など多数の皆さんからお祝いのあいさつがありました。
引き続き参加者全員が見守るなかテープカットが行われ、これと同時に生葉搬入用のベルトコンベアが動き出しいっそうの盛り上がりを見せました。
敷地面積三千五百平方丈、鉄骨スレート葺、平屋建千五百十三・二平方丈の建物をもち総事業費二億一千余万円をかけて作られたこの製茶工場は、百二十キロ三ライソンの機械を備え今までの二倍以上の能力を誇り現在のところ県下で最も大きな規模の工場として注目を集めています。
また、全自動加工システムが取り入れられているのも特色のひとつで、生葉の受入れから製品の梱包まで完全に省力化されており従来約半数の従業員で操業することができます。
そのうえ製品に大きな影響を及ぼすとされている工場内の換気にも近代的なシステムが採用され、「良質荒茶生産」の期待が持たれています。
また、事務室の二階に設けられた会議室は約三十人を収容することができ、今後役員会はもちろん地域の茶業研修の場など幅広い利用が期待されています。

ストレスとは私たちの体に加わるいろいろな圧力（刺激）のことです。この圧力が体に加わると体は防衛反応を起こします。たとえば（刺激）をした時に顔が青ざめるのは血管を縮めて出血を止めようとする防衛反応です。
このように、体はけがだけでなく精神的な刺激や身体への刺激によっても防衛反応を起こします。

目に見えない刺激（ストレス）とのたたかい

暮らしと健康



ストレス

寒さ暑さなどの気候の変化、人と人とのつき合いにによる気使い、毎日の仕事による身体的部分的疲れ、私たちはこのようなストレスをいつも味わっているのです。私たちの一生はストレスとのたたかいといえるでしょう。
ストレスがたまると便秘になる……。

- 手足の冷え・頭痛・耳鳴り・生理痛・目まい・どろき
- 食欲がない・胃腸の痛み・便秘
- 神経痛・肩こり・疲れ
- 疲れ目・もの忘れ
- 気が散る・小さなことが気になる・ひとりではない
- ストレスを乗り切り生き生きと生きよう
- ストレスの波にのまれないためには、自分がしっかりした気構えを持って積極的にストレスにたち向うことです。
- 規則正しい生活
- 心配な症状があらば早期に受診する
- など体に自信をもつ。
- 職場、家族、友人からのあたたかい思いやり
- 深酒はやめ一合まで
- 自分にあつた運動で気分転換
- 体の清潔と明るい服装で気分爽快。
- 「病いは気から」ということがポイントなのがこのストレスです。
- くよくよせず生き生きと毎日を過ごしましょう。

告知板

事業所統計にご協力を

6月15日・全国いっせいに実施

三年に一回実施される「事業所統計調査」が六月十五日、全国いっせに行われます。

これは、わが国の事業所の業種や従業員数、営業状態などの実態をつかみ、国、県、村などで行政経済政策を進める上で基礎資料とされるものです。

調査は会社、工場、商店など全国すべての事業所が対象になります。

本村には二百二十六の対象となる事業所があり「甲調査」「乙調査」「丙調査」に分けて行われます。

す。

〔甲調査〕

民間経営の事業が対象になります。事業所の名称、所在地、経営組織、事業の種類などのほか、会社の本所事業所(本社)の場合は資本金額、支所の数など四項目の調査事項が加えられます。

〔乙調査〕

サービス業の中から物品賃貸業(レンタカー業、貸ポート業、貸本屋など)、旅館その他宿泊所、洗たく、理容・浴場業、映画館業、娯楽業、自動車整備業などが対象

で建物・土地の面積、雇用の給与、最近一年間の売上高の三項目を、甲調査の項目に追加して調査します。

〔丙調査〕

国、地方公共団体及び公共企業体の事業所を対象に、名称、所在地、従業員数の事項について調査します。

調査した内容は、統計を作る目的だけに使用されます。

他の目的たとえば徴税などに使用されることはありませんし、調査員や調査関係者が他に洩らすこともありません。

事業所統計調査は国勢調査とならぶ国の基本的な調査です。ご協力をお願いします。

一生けんめい植樹する新成人



村民植樹祭

ヒノキ苗6,000本を植える

雨のため延期されていた「村民植樹祭」が四月二十日に行われまし。この日も決して好天とはいえない空もようでしたが、それぞれ唐ぐわや苗木袋を手に入れた見地内の植樹地へ集合しました。今年、二年前に行われた植樹地からさらに登った官行造林伐採跡地(約二畝)で比較的足場のよい植樹しやすいところでした。

村長をはじめ協議会議員、新成人、青年団、老人クラブ、婦人会など各種団体役員、それに一般の参加を合わせて六十余人が参加。村長のあいさつに続いて、植樹についての説明を聞いた後、美しく整地された山の植樹に移り、それぞれ穴を掘るもの、植えるもの、と汗だくになりながら作業が続けられ、午後二時ごろまでに予定のヒノキ苗六千本が植えられました。

新成人など植樹ははじめてという人も慣れない手つきで一生けんめい植える姿が印象的でした。

暮らしのカレンダー

＊妊婦学級(後期)

- ・とき 5月23日午前9:30~
- ・ところ 村民センター
- ・対象者 妊娠後期の方

＊犬の登録と狂犬病予防注射

- ・とき 5月23日・24日
- ・ところ 村内13会場
- ※年1回の登録と年2回(春と秋)の注射は義務づけられています。犬を飼っておられる皆さんは必ず受けさせてください。

＊小・中学校眼科検診

- ・とき 5月28日 午前10:00~午後3:00
- ・ところ 東白川病院
- ・対象者 校内検診でひろい上げられた者

＊修学旅行(各小6年生)

- ・とき 5月30日・31日
- ・ところ 京都・奈良方面

＊日本脳炎予防接種

- ・とき・ところ
- 6月7日 { 1:30~2:00 越原保育園
- 2:00~2:25 越原小学校
- 6月8日 { 1:30~2:25 神土小学校
- 2:00~2:25 神土保育園
- 6月9日 { 1:30~2:00 神土保育園
- 2:00~2:25 五加小学校
- ・対象者 各小・中学校及び保育園児

※日本脳炎予防接種は従来一般の人にも対象に実施されていましたが、昭和51年の予防接種法の改正に伴い、満3歳から15歳の者が対象となっています。

＊歯科衛生教育

- ・とき 6月14日
- ・ところ 各保育園
- ・対象者 各保育園児の保護者

＊二種混合予防接種

- ・とき 6月15日 午後1:30~2:00
- ・ところ 東白川病院
- ・対象者 S49.4.21~51.3.31生れの未接種者と追加

＊小・中学校耳鼻科検診

- ・とき 6月18日 午前8:30~午後3:00
- ・ところ 各小・中学校
- ・対象者 校内検診でひろい上げられた者

民俗風俗あれこれ

人の一生



—村誌編さん室だより

葬式の準備 (二)

一方、もやいや親戚の人びとによつて、墓標・塔婆・八足・開垣などの大工仕事をはじめ竹細工・薬細工・造花づくりなど、その出棺準備に精を出す。

やがておおかたの準備の出来たところで、近隣・親戚・知人など主だった会葬者には「出立」と称して酒肴と食事を振舞うが、このとき使う箸は青竹を割って作ったものを用いる。

葬儀の形式は、この村は明治以来神道一本の村としてすべて神式で行われる。

祭壇は座の正面に(柩)が安置され、その前の台の上に故人の

本名を記した(しやく)の霊位を納めた(たまや)を据え、左右に鏡と剣を表

わす大神を立て生花や造花をならべる。霊前には神酒・洗米・魚・野菜・海草など野山の幸、海の幸を供え会葬者からおくられた玉串料や供物も整然と供えられる。

この場に故人の遺影をかかげたり花環や盛花などが贈られるようになったのは、一般では戦後のことである。

葬儀 (一)

やがて「出立」の酒食も終り、出棺の準備も整ったところで葬儀がしめやかに終わる。

神式では葬儀を司祭する神官を齋主といひ、齋主は祈詞の中で故

人の生いたちや経歴をのべその勞苦をなぐさめ、遺徳をたたえ霊となつて末長く家や家族を守つてくれるよう祈る。

静まりかえつた悲しみがただよふ中でおごそかに響きわたる祈詞の声に在りし日の故人をしのび、身内の間から忍び泣きが洩れるのも人の世の常である。

再葬は故人が生前中に公職などを歴任し、または公共に貢献した場合などに限られ、一般の家庭では省略する場面が多い。

玉串奉奠は、齋主が捧げた後で喪主・親族・親戚・近隣・知人友人・一般会葬者代表の順に行う。

▼今月の料理▲

ゼリーケーキ 六人分
材料 寒天：一本、水：二カップ、砂糖：百三十g、イチゴ：八コ、レモン：1/2、牛乳：五十cc
ホイップクリーム：三十三g
作り方 寒天は水洗いして細かくちぎり二十分程水にひたしてから水気を切る。鍋に水二カップを入れて火にかけて、寒天を入れて少し溶けてきたら砂糖を入れて木しゃもじで混ぜながら煮とかし、水を止めてレモン汁を入れ裏ごしをする。水でぬらした流し箱に寒天を入れ少し冷めてきたらイチゴの四ツ切りを散らし、更に冷やす。器に盛ってからホイップクリームで上を飾る。



大明神 安江 豊・信子さん夫婦

新婚です

よろしく

豊さんは地元の田口建設に勤める建築大工。趣味は車、カメラ、ステレオとお金のかかるものばかり。特に写真はかなりのこりようで年に1~2回は撮影会に出かけられ、道具はプロカメラマンもびつくりするほど……。

奥さんの信子さんは西洞の今井軍司さんの四女で白川にある宮木縫製に3年間勤めその後は家事に専念。料理、編物など家庭的な趣味をもつお嬢さん。

豊さんから見た奥さんは妹のようで、たまにけんかしても相手にならずいつも奥さんのひとりずもうとか。子供は4人くらいほしい。将来は子供の前でけんかしない明るい家庭に。

世帯主 秋夫さん 一3月18日結婚

企画広報課からのお知らせ

広報モニター募集!!

毎月発行している「広報ひがししらかわ」をより皆さんの身近なものとして楽しく読みやすいものにするため、また、地域の情報連絡をはじめ住民と行政とのパイプ役として活躍していただく「広報モニター」を今年度から設置することになりました。

応募資格は特にありませんが、年に1~2回の投稿と写真の提供、それに各地域での催しものの連絡やかくれた善行など連絡していただける方を求めています。広報モニターの定員は、神土と越原地区が各2人、五加地区1人の合計5人です。

応募者が多かった場合には抽選で決めさせていただきます。

応募の締め切り、申し込み場所は次のとおりです。

応募締め切り……昭和53年6月15日

申し込み先……役場 企画広報課

(有線2185番)

申し込み方法……文書または電話のいずれでもけっこうです。

その他詳しいことは企画広報課へおたずねください。



ふるさとへの便り

送られし広報に見しや里の世は移り歩みて今は恋しき
古里や腕白坊主といわれつつ遊び育ちし友よ恋しき



東白川村の皆さんごきげんいか
がお過ごしでしょうか。
毎月の広報で発展する村の姿を
楽しく拝読しております。

過日は村人会の総会に出席し、
諸先輩の方々とも楽しく話し合い
をしました。がやはり郷里の話にな
りました。

当日は桂川助役さんのご出席を
いただいた。村の近況をお話した
だき一層の認識を深めました。
さて、私たちのように郷里を離

れた者には望郷の話の出ることは
当然のこと、自分たちの遠くな
った少年のころの日の思い出話に
花が咲き懐かしむものです。

「懐かしい」ということばの中
に含まれる感じ、その度合は歳月
がたつにつれてしだいに強く感じ
るものですが、これは物心がつい
て十年足らずの期間で脳裏に焼き
つけられた日々のことだと思いま
す。

久々に郷里に帰省したとき自分

の育った周辺が幼き日のままの姿
で映った瞬間に強く感謝するもの
です。郷里を後に村を離れて働く
何人も普遍的なものと思えます。

しかし、郷里は過去から現代へ
と生活様式も変り周辺の景色も変
って行くことは必然なこととは思
いますが、私たちにはいつまで
も変らない郷里であってほしいと
いうことを思い続けています。

お話しによりますと、過去にお
いては本村の自然を求めての開発
業者の入り込みを食い止められ、
郷土の自然を守られたことを聞き
有り難いことだったとお察して
おります。東白川村を郷里にもつ
て働く私どもは幸せ者であり、東
白川村はどんな社会情勢にも動ず
ることなくますます

寿会がほうき作り

学校や保育園へ寄付



5月8日宮代のちびっ子広場へ寿会の会員約40人が
集合。竹ほうき作りが行われました。

会員がそれぞれ持ち寄った竹の枝を使って150本の
ほうきが完成。

このほうきは村内の各小・中学校と保育園へ寄付さ
れ、校（園）内美化に使われることになっています。

ますの繁栄を願
い、村民の健康
と幸せを願ひひ
たすにがんばら
せて自然風土を
美しく残して
くださる村民の皆
さんに感謝し、
村章のように將
来に向ってまい
進されるよう祈
ってやみません
四月十八日
取手市井野団地
五十五一五〇
三
安江昭七（黒
淵出身）



あなたの作品を
お寄せ下さい

・初心者、特に若い
人達の投稿を歓迎
します。
・毎月末までに神土
田口良三宛に出し
て下さい。

○うたた寝の姿も父に似て来しと妻に言はれぬ厄年も近く

春雨の降るとも見えぬ峽の間に煙らふごとく山桜咲く
月明りあらぬ夜道の生垣に沈丁花らしかすかに匂ふ

残業して帰る夜道に人影なくそと寄り添ひぬ夫の肩に

○背丈ほど雪積れりとふ北国の孫の声はずみ合格を告ぐ

大岩の数ある尾根に年古りし辛夷の花は今盛りなり

○不動尊まことの愛と力なり慈悲の眼に日月をみる

○吊り橋の手摺りを頼りに渡り来て曾孫と戯る米寿の母は

耕転機（とま）の季となりけりあちこちの音につられて心忙しき

玩具とは思へどをかし人形の着物を洗ふ孫の洗濯機

連休をすてばち山と吾に説く教師が憎し仕事多忙に

一齋（さい）に生え揃ひたる茄子の苗間引くに惜しく暫しためらふ

遅き春の峽にもやうやく気は満ちて菟鷹の頻りに鳴くも

○残雪と紛（まが）ふばかりに群れ咲ける辛夷の山より雨に降り始

り
○散る花を獅子は衣装に受止めて舞ひつつ石段登り来るな

三代の風雪を経て古びたる顔を冷たき水にて洗ふ

田口良三